

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-35	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
089・友社	音Ⅲ・702	ON! 3		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法および学校教育法の趣旨に則りながら、現代的な教育課題に対応し、学問の自由を尊重した個性豊かな教科書となるよう、次の3点を基本方針として本書の編修にあたりました。

(1) 生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わること

・幅広いジャンルの音楽から選曲するとともに、多様な視点から音楽や音楽文化を深く捉え、音楽の諸活動を通して価値観や視野を広げることができるように、内容を工夫しています。

(2) 確かな学力を育成すること

・学習課題を明確化し、参考資料を豊富に用意することにより、生徒自らが音楽的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって学習を深めることができるようにしています。

(3) 音楽のもつ教材としての力を最大限に引き出すこと

・音楽の特徴や内在する教材性を精選するとともに、一つの音楽を多角的に捉えたり、多様な音楽の共通性や固有性を理解したりできるよう、構成を工夫しています。

## 2. 対照表

(対照表のうち、「教」は教育基本法第二条を、「学」は学校教育法第五十一条を示すものとします)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の財産である豊かな内容を備えた音楽を選択・配置することにより、豊かな感性や情操、人間性を養うことができるようにしました。(「教」第一号, 「学」第一号)</li> <li>・全体を領域・分野に準じた四つのブロックに分けて構成しながら、相互の関連を示すことにより、個人の価値を尊重し、個性に応じた学習活動が展開されるようにしました。(「教」第二号, 「学」第二号)</li> <li>・Memo, Point, Tryなどのコーナーを設け、曲の特徴や構造のみならず、音楽が生活や社会に果たす役割などについての思考や健全な批判力、協働的な学びを促すようにしました。(「教」第三号, 「学」第三号)</li> </ul>	p.6-15 / p.20-50 / p.52-69 / p.71-78 / p.81
ONGAKU[音楽]からひろげよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ブロックの学習で共通に生きて働く内容や音楽と文化的・歴史的背景などとの関わりを精選して示すとともに、学習成果を発表するための準備と実際について、3ページにわたるカラー写真で示して、主体的、自律的に学習を深めることができるようにしました。(「教」第二号, 「学」第二号)</li> </ul>	おもて表紙裏 / p.16 / p.90 / p.92 / p.94 / p.96

歌おう	<p>・幅広い時代の曲, 様々な国・地域, ジャンルの曲から選択・配列することにより, 多様な価値に心を開き, 自他の敬愛を重んずる態度を養うことができるようにしました。(「教」第五号, 第三号, 「学」第三号)</p> <p>・それぞれの学習活動に必要な最低限の知識を各ページで説明したり, 参照ページを明示したりすることによって, 個に応じた深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号)</p> <p>・日本や郷土の音楽から, 自然や生活との関わりの深いものを選曲し, 生命の尊さに気づき, 自然や環境を大切にすることを養うとともに, 自らが音楽文化の担い手であるとの意識を高めることができました。(「教」第四号, 第五号, 「学」第一号)</p>	<p>p.6-18 / p.20-50</p> <p>p.15 / p.17 / p.20 / p.21 / p.25 / p.29 / p.37</p> <p>p.10-18</p>
合わせよう	<p>・歌唱の教材には, 輪唱の曲から混声四部合唱曲, ヴォイス・トレーニングまで, 様々な演奏形態の曲を選択・配列して, 楽しみながら幅広い知識と教養が身に付くようにしました。(「教」第一号, 「学」第一号)</p> <p>・器楽(ボディ・パーカッションを含む)の教材には, 耳なじみのある曲や親しみやすい学習活動などを積極的に選択・配列するとともに, 芸術性に富む作品を含めて, 生徒の実態に即した深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 第五号, 「学」第二号)</p> <p>・各種の楽器の学習に必要な知識や技能をまとめて示すことによって, 個に応じた深い学びが実現するようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号)</p>	<p>p.52-65</p> <p>p.66-69 / p.71-78</p> <p>p.70 / p.71 / p.75 / p.79</p>
つくろう	<p>・生活や社会の中で音や音楽が用いられている身近な場面を探し, 多様な素材を取り上げることで, 自然や環境, 生活や文化に目を向けるきっかけとしました。(「教」第四号, 「学」第三号)</p> <p>・音楽を創作するための過程を丁寧に紐解きながら, 参考となる生活場面と関連づけることによって, 個性の確立に向けた創造活動が展開されるようになりました。(「教」第二号, 「学」第二号)</p> <p>・楽典に関する内容をまとめて示すことにより, 生徒の実態に即した自律的で個性的な学習の助けとなるようにしました。(「教」第二号, 「学」第三号)</p>	<p>p.82-83</p> <p>p.83-85</p> <p>p.86-88</p>
知ろう, 楽しもう	<p>・音楽の聴き方, 音楽の社会的な役割などに対する見方・考え方の多様な例を示すとともに, 生活や社会との関連について思考・判断を促す問いを示しました。(「教」第二号, 第三号, 「学」第三号)</p> <p>・日本や郷土の音楽については, 楽器や舞台の様子などの視覚的な情報を盛り込み, 日本の生活や文化との関わりが理解しやすくなるようにしました。(「教」第五号, 「学」第一号)</p>	<p>p.89-97 / p.98-101</p> <p>p.98-100</p>
	<p>・西洋音楽については, 多様なジャンルの楽曲を選択・配列するとともに, 関連する情報やコラムなどを盛り込み, 幅広い知識と教養が身に付くようにしました。(「教」第一号, 「学」第二号)</p>	<p>p.89-97</p>

コラム, その他	<p>・音楽を生活や社会, 文化との関わりなど幅広い観点からとらえたり, 生涯にわたって音楽や音楽文化と深く関わるために必要な資質・能力を育成するのに適した学習内容を, コラムとして示しました。(「教」第五号, 「学」第一号)</p> <p>・日本と西洋の音楽史に関する資料を豊富に盛り込むことによって, 音楽を広い視野から俯瞰的に, かつ多面的に理解することができるようにしました。(「教」第一号, 第三号, 「学」第二号)</p>	<p>p.19／p.51／p.89</p> <p>p.102／p.103-うら表紙裏</p>
----------	---	--

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・教科書としての格調を保ちながら, 生徒が親しみを覚えて楽しく学習できるように, 見やすく, わかりやすいページづくりを心がけました。
- ・小学校, 中学校, 音楽 I, II での学習を深めることができるように, 題材や教材の選択に配慮しました。
- ・環境にやさしい紙および植物インキを使用しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-35	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
089・友社	音Ⅲ・702	ON! 3		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領に示された音楽Ⅲの事項をバランスよく取り扱うとともに、三つの柱で再整理された「育成を目指す資質・能力」の着実な定着、そして豊かな人間性や価値観の形成を目指し、次の各点に意を注いで本書を編修しました。

### (1) 全体の構成

- ・「ONGAKU[音楽]からひろげよう」を位置づけ、各ブロックの学習で共通に生きて働く知識・技能や音楽と文化的・歴史的背景などとの関わりを精選して示すとともに、学習の成果をコンサートという形で発表するための準備と実際について、3ページにわたるカラー写真で示すなど、音楽学習の意欲を喚起するよう工夫しました。

### (2) 多様な教材

- ・生徒に親しまれている歌、日本や世界で歌い継がれてきた歌に加えて、音楽表現の共通性や固有性をとらえやすい音楽など、計57曲を様々な形態で配当しました。
- ・少人数のアンサンブルにも、履修クラス単位の合奏にも適用できる教材編曲に工夫をこらしました。

### (3) 学習内容の明確化

- ・教材曲の各ページに、参考情報やコラムなどのコーナーを設けて、学習のポイントを明示しました。
- ・音や音楽、音楽文化などについて多角的な思考と個性豊かな表現を促すよう、きめ細かな記述を心掛けました。

### (4) 豊富な関連資料

- ・学習意欲を喚起する写真や他教科等の学習内容、生活や社会、文化・歴史と関連する内容などについて資料をふんだんに盛り込み、生徒の興味・関心に沿って学習活動が展開されるようにしました。

## 2. 対照表→別表

# 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容														内容の取扱い（括弧付き数字は「音楽Ⅲ」の3の（2）、「音楽Ⅰ」の3の（2）、「音楽Ⅱ」の3の（1）及び（3）と対応している）*					
			A 表現						B 鑑賞						〔共通事項〕							
			(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			(1) 鑑賞						(1)				
			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		イ				ア	イ			
			(ア)	(イ)		(ア)	(イ)					(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)		(ウ)	(イ)			
			歌唱表現に創意工夫すること。	曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を身に付けること。	歌や歌うことと生活や社会との関わりを身に付けること。	創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けること。	楽器表現に創意工夫すること。	曲の表現内容や様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性を身に付けること。	曲や演奏することと生活や社会との関わりを身に付けること。	創意工夫や表現上の効果を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けること。	創作表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに創作表現を創意工夫すること。	様々な音楽材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。	創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けること。	曲や演奏に対する評価とその根拠	文化や芸術としての音楽の意味や価値	音楽表現の共通性や固有性	音楽の美しさと音楽の構造との関わり	芸術としての音楽と文化的・歴史的背景、他の芸術や文化との関わり	現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴	音楽と人間の感情との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割	音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。	音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
ONGAKU からひろげよう	(口絵)コンサートを開こう	表紙裏-2		○			○												◎			
	体の動きと合わせて表現しよう／音楽と動き	16	◎		◎															◎		(1)
	音楽と歴史の関わり	90																◎				
	音楽を読む	92											◎		◎							
	音楽と、文学や他の芸術	94																◎				
	音楽や楽譜と著作権	96																		◎		
群青	6-7	◎	◎	◎																◎	○	
さとうきび畑	8	◎	◎	◎																◎	○	
糸	9	◎	◎	◎																◎	○	
かやの木山の	10-11	◎	◎	◎																◎	○	



# 対照表

合わせよう	缶・勤・感	67					◎	◎		◎									◎	◎		
	Doodle Piano	68-69					◎	◎		◎									◎	◎		
	オープニング・テーマ(小組曲「ピタゴラスイッチ」から)	71					◎		◎	◎									◎	○		
	戦争のパヴァーヌ	72-73					◎												◎	○		
	Lágrima(涙)	74-75					◎	◎		◎									◎	◎		
	ヘンデルは飛んで行く	76-78					◎	◎		◎									◎	○		
俗謡ラブソディ	80-81					◎		◎	◎									◎	○			
つくろう	音や音楽が使われている場面を探そう	82								◎	◎								◎	◎	(10)	
	場面にふさわしい音楽をつくろう	83-85								◎	◎	◎							◎	◎	(7)	
	楽典	86									◎								○	◎		
知ろう、 楽しもう	レクイエム 二短調 KV626	89											◎	◎		◎	○		◎	◎		
	弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調 作品76の3「皇帝」	90											◎	◎		◎	○		○	◎	◎	
	交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」	91											◎	◎		◎	○		○	◎	◎	
	スケルツォ 第2番 変口短調 作品31	92											◎	◎		◎	○		○	◎	○	
	オペラ「タンホイザー」	93											◎	◎		○	◎		○	◎	○	
	交響組曲「シェエラザード」 作品35	94											◎	◎		◎			○	◎	○	
	ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18	95											◎	◎		◎			○	◎	○	
	トゥランガリラ交響曲	96											◎	◎		○		◎	○	◎	◎	
	海へ～アルト・フルートとギターのための	97											◎	◎		○		◎	○	○	◎	
	歌舞伎「青砥稿花紅彩画」	98-99											◎	◎			◎		○	○	◎	(2)
	郷土の伝統音楽	100											○	◎	○			◎	○	○	○	(2)
諸民族の楽器	101											○	◎	◎			◎	○	◎	◎		
年表	作曲家年表	102												○			◎		○	◎		
	音楽史年表	103-裏表紙裏												○			◎		○	◎		
コード表・ 運指表	ギター・コード表／リコーダー運指表	70										○		◎	○				○	◎	(5)	
	キーボード・コード表	79										○		◎	○				○	◎	(5)	
コラム	伴奏をつけて歌おう	19	○		○	○				◎	◎	◎							○	○		
	アド・リブ・コーラスに取り組もう	51	○		○	○				◎	◎	◎							◎	○	(7)	
	音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で書いてみよう	89											◎	○	○	◎	○			◎	○	(8)

\*内容の取扱いの「音楽Ⅲ」の3の(2)と「音楽Ⅰ」の3の(2)について、書体及び下線で区別して示した。